

みずほCustomer Desk Report 2020/10/09 号(As of 2020/10/08)

市場營業部 為替營業第二千一ム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	105.98	1.1765	124.74	1.2916	0.7135
SYD-NY High	106.11	1.1782	124.87	1.2970	0.7170
SYD-NY Low	105.93	1.1733	124.38	1.2894	0.7124
NY 5:00 PM	106.03	1.1761	124.66	1.2933	0.7168

NY DOW	28,425.51	122.05	日本2年債	-0.130	0.00bp
NASDAQ	11,420.98	56.38	日本10年債	0.030	0.00bp
S&P	3,446.83	27.38	米国2年債	0.148	▲0.39bp
日経平均	23,647.07	224.25	米国5年債	0.333	▲0.47bp
TOPIX	1,655.47	9.00	米国10年債	0.778	▲0.50bp
シカゴ日経先物	23,660.00	125.00	独10年債	-0.5225	▲2.80bp
ロンドンFT	5,978.03	31.78	英10年債	0.2865	▲1.50bp
DAX	13,042.21	113.64	豪10年債	0.8780	2.50bp
ハンセン指数	24,193.35	▲ 49.51	USDJPY 1M Vol	7.35	▲0.34%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	7.13	▲0.40%
NY金	1,895.10	4.30	USDJPY 6M Vol	7.28	▲0.25%
WTI	41.19	1.24	USDJPY 1M 25RR	-1.15	Yen Call Over
CRB指数	151.217	1.66	EURJPY 3M Vol	7.48	▲0.51%
ドルインデックス	93.61	▲ 0.02	EURJPY 6M Vol	7.76	▲0.25%

東京	東京時間のドル/円は105.98レベルでオープン。米国の追加経済対策策定への期待感から、一時106.11まで上昇するも、それ以上の上値を追う展開とはならず。米副大統領候補の討論会も材料視されることはなく106円を挟んだ値動きに留まり、結局105.99レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.99レベルでオープン。材料難で106円を挟んだ小動き。105.93-106.03のレンジで推移し106.01レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2942レベルでオープン。立ち上がり1.2970まで買われたが、合意見込みがなければ通商交渉期限の15日までに交渉を降りる、との英側発言が尾を引いてか、今度は1.2894まで下落。少し戻して1.2904レベルでNYに渡った。(ロンドン・ホールフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	米副大統領候補の討論会は特段材料視されず、海外市場のドル円は106円を挟んだ狭いレンジで推移。前日高値の106.11まで上昇する場面もあったが、この水準での戻り売りを受けて、更なる上値追いには至らず、106.01レベルでNYオープン。「米大統領候補の第2回討論会がリモート形式での開催予定」との報道に対し、朝方にトランプ陣営が「リモート討論会には参加せず、選挙集会の開催を計画している」と発表するが、市場の反応は鈍かった。その後、発表された米新規失業保険件数は予想を上回るも、継続受給者数は予想を下回り、強弱まちまちの結果を受けて方向感の乏しい展開が継続。また、ペロシ米下院議長が追加経済対策を巡り「包括的な支援策なしで航空会社支援策のみの法案合意はない」と述べたことが嫌気され、ダウ平均が一時マイナス圏に沈む場面もあったが、為替市場は反応薄。午後は新規の手がかり材料が乏しい中、106円ちょうどを挟み膠着状態が続き、結局、106.03レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、日本株や欧州株が堅調に推移する中、リスク志向のドル売りにサポートされ、1.1782まで上昇。その後、ブレグジットの交渉難航を受けて下落するポンドドルにユーロが連れ安となり、1.1752まで下落。早朝にECB理事会議事録が発表され、ECBのユーロ高への懸念が伝わったことも上値を圧迫し、1.1761レベルでNYオープン。朝方はオープン前に発表されたECB理事会議事録の内容が意識されたためか、売りが持ち込まれ1.1733まで下落。しかし、前日の安値を下抜けできず、その後はじりじりと値を戻す。午後は1.1760近辺で方向感なく推移し、結局、1.1761レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：鈴木・大谷

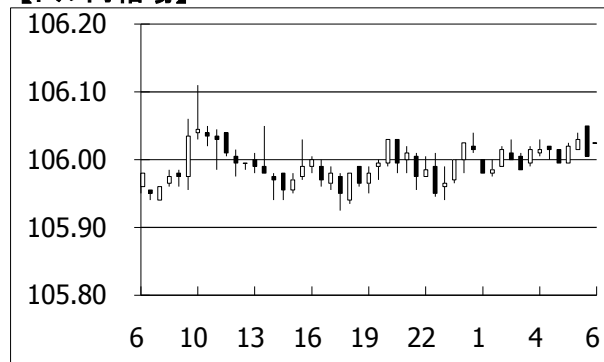
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月8日	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	840k
	22:15	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	「FRBは債券購入で一段の透明性を」	
10月9日	01:10	米 ローゼングレン・ボストン連銀総裁 講演	「感染拡大前の低金利が現在の景気後退を深刻化」	

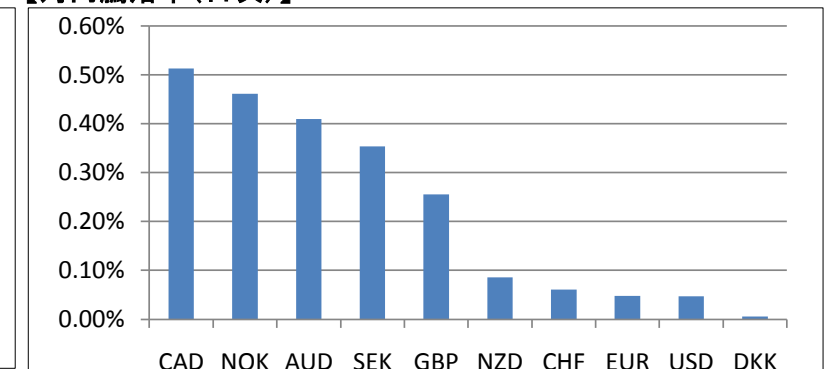
【本日の予定】

Date	Time	Event		予想	前回
10月9日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	8月	2.5%/-4.7%	5.2%/-7.8%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	8月	3.0%/-5.9%	6.3%/-9.4%
	22:00	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-	-
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	8月	0.5%	0.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.50-106.50	1.1720-1.1820	124.30-125.30

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円は動意に欠ける展開。
東京時間には一時106.11円まで上昇する場面も見られたが、その後は106.00円を挟んだ狭いレンジ内で推移。米副大統領候補の討論会やペロシ米下院議長の追加経済対策への発言も特段材料視されることなく、一日を通して18銭の狭い値幅での値動きに留まった。
本日のドル/円も106.00円を挟んだ値動きを予想する。米経済指標の発表等の取引材料に乏しい中、狭いレンジでの値動きが継続すると思われる。ただ開催まで1ヶ月を切っている米大統領選関連のヘッドラインには注意したい。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル		8	13